

血

液

内

科

だ

よ

り

がんリハビリテーションとは

がん診療の進歩に伴いがんの生命予後が改善し、「がんと共存する時代」となっています。しかし、がんそのものや治療により身体機能(筋力や体力など)が低下しやすいとされています。がん患者における身体機能の低下は、日常生活動作の制限、早期家庭・社会復帰の妨げ、QOL(生活の質)の低下などに関わってくるため、その予防としてリハビリテーションが重要となってきます。

がん症状、治療による副作用など

活動性低下
寝たきり筋力低下
持久力低下

どんな人が対象になるの？

がんリハビリテーションは、がんと診断された患者様が入院中に手術や化学療法(抗がん剤)、放射線治療などを受ける予定または受けた方、もしくは自宅退院目的の方を対象としています。

いつからリハビリテーションを受けられるの？

がんリハビリテーションの対象となる方であれば、治療のどのような時期や病状であっても受けることができます。がん治療の時期や全身状態に応じて、「予防的」「回復的」「維持的」「緩和的」などリハビリテーションの目的や役割が異なるため、筋力や体力が低下して入院中・退院後の生活が不安だと感じる方は医療スタッフに相談してください。

リハビリテーションってどんな効果があるの？

- ・筋力、体力の維持・向上
 - ・関節、筋肉の柔軟性向上
 - ・ストレス解消による抑うつ・不安感の軽減
 - ・倦怠感の軽減
- など様々な効果があります。

